

- 問1 明治初期の経済状況を記録した統計資料によると、当時の米の市場価格は年や時期によって激しく上下していました。このような不安定な状況を解消し、近代国家の基礎を固めるために実施された地租改正の主な目的として、最も適切なものはどれですか。 (2023年 広島県公立入試 類似)
1. 農村での現金流通を抑え、人々の生活を自給自足に戻すため
 2. 米の収穫量を増やすことで、海外への輸出額を増大させるため
 3. 豊凶や米価の変動に左右されず、政府の税収を安定させるため
 4. 土地の売買を全面的に禁止し、すべての土地を国有化するため
- 問2 1877年に明治政府が、地租改正で定められた地価の3%という税率を2.5%へ引き下げる決断をした直接的な背景として、最も適切なものはどれですか。 (2019年 大阪府公立入試 類似)
1. 富国強兵が進んだことで軍事費を削減し、農民の負担を減らす余裕ができたため。
 2. 欧米列強から関税自主権を回復し、関税収入が大幅に増加したため。
 3. 版籍奉還によって旧藩主への俸禄の支払いがなくなり、政府の財政が安定したため。
 4. 地租の負担に反対する農民一揆が各地で激化し、政府がこれに対応せざるを得なくなったため。
- 問3 明治時代初期、政府による近代化政策にともない、欧米の文化や制度が積極的に取り入れられました。これによって、都市を中心に伝統的な生活様式が急速に西洋風へと変化した社会現象を何と呼びますか。 (2018年 岐阜県公立入試 類似)
1. 富国強兵
 2. 殖産興業
 3. 大正デモクラシー
 4. 文明開化
- 問4 明治政府が地租改正において、納税の方法を従来の「米による物納」から「現金による金納」へと改めた主な理由として最も適切なものはどれか。 (2020年 大分県公立入試 類似)
1. 農村での貨幣経済の普及を抑制し、農民が自給自足の生活を維持できるようにするため。
 2. 地主の権限を弱め、すべての農民に平等な納税の義務を課すことで江戸時代の身分制を完全に打破するため。
 3. 政府が米を直接管理することで、海外への輸出を独占し貿易赤字を解消するため。
 4. 豊作や不作、あるいは米価の変動に左右されず、政府が安定した税収を確保できるようにするため。
- 問5 1871年に欧米諸国へ派遣された岩倉使節団の主な目的として、最も適切な説明はどれか。 (2019年 滋賀県公立入試 類似)
1. 廃藩置県の実施に際して、欧米諸国から政治的な承認と財政的な支援を取り付けること
 2. 幕末に結ばれた不平等条約の改正交渉を行い、あわせて欧米の先進的な制度や産業を視察すること
 3. 国内で頻発していた士族の反乱を抑えるため、欧米の最新兵器の導入と軍隊の派遣を要請すること
 4. キリスト教の信仰を全国で解禁することを条件に、関税自主権の完全な回復を合意すること
- 問6 1720年から1880年にかけての東京の人口推移をみると、1860年代末から1870年頃にかけて、100万人を超えていた人口が60万人程度まで急激に減少しています。この時期に起こった人口減少の背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2025年 島根県公立入試 類似)
1. 徴兵令が施行されたことで、東京に住む多くの若者が兵役に従事するために、地方にある軍の拠点へと一斉に移住したため。
 2. 地租改正によって土地の所有権が認められたため、都市部で働いていた人々が農業を再開しようと自分の土地がある地方へ一斉に帰還したため。
 3. 殖産興業政策によって地方での工業化が優先されたため、東京の労働者が新たな仕事を求めて地方の官営模範工場へと移住したため。
 4. 廃藩置県などの改革が行われたことで、それまで江戸（東京）に定住していた大名や武士たちが、領地管理の義務から解放されて故郷へ戻ったため。
- 問7 明治時代初期、政府の権力が一部の有力な官僚に独占されている状況を批判し、国会を開設することを求めた「民撰議院設立建白書」が提出されました。この建白書において「有司専制」と批判された政治体制の中心人物であり、初代の内務卿として近代化を推進した人物は誰ですか。 (2023年 熊本県公立入試 類似)
1. 大久保利通
 2. 西郷隆盛
 3. 板垣退助
 4. 吉田松陰
- 問8 明治初期、徴兵令の実施や秩禄処分、廃刀令などによって特権を失った不平士族たちは、各地で政府に対する反乱を起こしました。1877年に鹿児島県で西郷隆盛を指導者として起こり、政府軍によって鎮圧された最大かつ最後の武力反乱を何といいますか。 (2015年 岡山県公立入試 類似)
1. 禁門の変
 2. 島原・天草一揆
 3. 西南戦争
 4. 戊辰戦争
- 問9 19世紀後半、江戸幕府から明治政府へと時代が移り変わる中で、日本が最も強く意識した国際的な状況として適切なものを選びなさい。 (2016年 長野県公立入試 類似)
1. 欧米諸国によるアジアへの進出と植民地化の危機
 2. 白村江の戦い後の唐・新羅連合軍による日本侵攻の懸念
 3. 冷戦の終結による国際社会の安定と自由貿易の拡大
 4. 元寇の再来に備えた全国的な海岸線の防備強化
- 問10 明治政府が行った「廃藩置県」の目的と、その内容を正しく説明しているものはどれですか。 (2026年 静岡県公立入試 類似)
1. 国民の意見を政治に反映させるため、全国に地方議会を設置し、各地域の代表者に統治権を分散させた。
 2. 江戸幕府の仕組みを維持するため、将軍に代わって有力な藩主たちが合議制で政治を行う体制を整えた。
 3. 藩の独立性を高め、それぞれの地域で独自の政治を行わせるため、大名を再び領主として任命した。
 4. 天皇を中心とする強力な統治体制を築くため、藩を廃止して府知事や県令を中央政府から派遣し、全国を直接支配した。
- 問11 明治政府が、欧米諸国に並ぶ国力を養う「富国強兵」を達成するために、1872年に発布した教育制度は何ですか。 (2017年 長野県公立入試 類似)
1. 秩禄処分
 2. 徴兵令
 3. 地租改正
 4. 学制
- 問12 明治初期の政府内では、日本との正式な国交を拒んでいた朝鮮に対し、武力を用いても開国を迫るべきだとする主張が生まれました。この主張を何といいますか。 (2017年 千葉県公立入試 類似)
1. 地租改正
 2. 尊王攘夷
 3. 文明開化
 4. 征韓論
- 問13 明治政府が行った地租改正の内容について、正しい説明はどれですか。 (2017年 愛知県公立入試 類似)
1. 土地の所有者に地券を発行し、地価を基準としてその3パーセントを現金で納めさせた。
 2. 土地の所有者に地券を発行し、毎年の収穫量を基準としてその3パーセントを米で納めさせた。
 3. 政府がすべての土地を買い上げ、地価を基準としてその2.5パーセントを現金で納めさせた。
 4. 村ごとに土地の面積を調査し、地価を基準としてその3パーセントを米で納めさせた。
- 問14 1872年の制度公布後、長野県の旧中込学校のように、洋風の塔を持つ木造の学校建築が各地で建設された。この制度に基づき、政府が全国に最も優先して設置を進めた教育機関はどれか。 (2020年 愛知県公立入試 類似)
1. 藩校
 2. 工部大学校
 3. 小学校
 4. 師範学校

答え合わせ・解説

問1	答え 3 豊凶や米価の変動に左右されず、政府の税收を安定させるため	江戸時代の年貢は米で納められていたため、政府の収入は作物の豊凶や米価の変動に大きく左右され、不安定でした。明治政府は学校の建設や軍備の増強、産業の育成といった近代化政策を進めるための資金を確実に確保する必要があったため、地価を基準とした現金による納税制度へと改め、税收の安定化を図りました。
問2	答え 4 地租の負担に反対する農民一揆が各地で激化し、政府がこれに対応せざるを得なくなったため。	地租改正は「収穫高」ではなく「地価」を基準にしたため、豊作・不作にかかわらず一定の税を現金で納める必要があり、農民にとって非常に厳しいものでした。1876年には三重県（伊勢暴動）や茨城県などで大規模な反対一揆が相次いで発生しました。当時、政府は不平士族による反乱への対応にも追われていたため、農民の反抗を鎮めるために「竹槍で、ドンと突き出す二パー五（2.5%）」と言われるような減税措置を講じました。
問3	答え 4 文明開化	明治政府は、欧米諸国に対抗できる近代国家をつくるため、技術や制度だけでなく思想や生活習慣の西洋化も進めました。この時期にはガス灯の設置やレンガ造りの建物の造営、太陽暦の採用など、人々の生活が目に見えて変化しました。
問4	答え 4 豊作や不作、あるいは米価の変動に左右されず、政府が安定した税收を確保できるようにするため。	それまでの収穫高に応じた米による納税では、天候による不作や、市場における米の価格変動によって、政府の毎年の収入が不安定になるという欠点がありました。土地の価格（地価）を基準に固定された金額を現金で納めさせることで、政府は景気や天候に左右されない安定した財政基盤を確立し、近代化政策を進めるための資金を得ようとしていました。
問5	答え 2 幕末に結ばれた不平等条約の改正交渉を行い、あわせて欧米の先進的な制度や産業を視察すること	明治政府は、欧米列強との対等な関係を築くために不平等条約の改正を急いでいました。岩倉使節団はその予備交渉を行うとともに、日本の国力を充実させるために欧米の政治、経済、教育などの進んだ仕組みを直接学ぶことを重要な任務としていました。この視察で得た知見は、帰国後の日本の近代化政策に大きく反映されました。
問6	答え 4 廃藩置県などの改革が行われたことで、それまで江戸（東京）に定住していた大名や武士たちが、領地管理の義務から解放されて故郷へ戻ったため。	明治政府が廃藩置県を断行したことで、江戸時代から続いていた幕藩体制が完全に消滅しました。これにより、江戸時代に参勤交代などで東京（江戸）に住むことを義務付けられていた大名や、その家臣である多くの武士たちが、封建的な主従関係や領地管理の束縛から解かれ、その結果、生活の拠点を東京からかつての領地や故郷へと移したため、明治初期の東京では一時的に大幅な人口減少が見られました。
問7	答え 1 大久保利通	明治政府の要職が薩摩藩や長州藩などの出身者によって占められていた体制は「有司専制（ゆうしせんせい）」と呼ばれました。大久保利通はその中心として内務省を設立し、殖産興業などの近代化政策を強力に主導しました。これに対し、板垣退助らは国民の意見を政治に反映させるべきだと主張し、自由民権運動へとつながる建白書を提出しました。
問8	答え 3 西南戦争	明治政府の近代化政策によって、それまで特権階級であった士族は、帯刀の禁止や家禄（給料）の打ち切りといった厳しい状況に追い込まれました。これに不満を抱いた不平士族たちは各地で反乱を起こしましたが、1877年の西南戦争が政府軍に敗北したことで、武力によって政府を打倒することは不可能であると悟り、その後の運動は自由民権運動などの言論による政治闘争へと移り変わっていきました。
問9	答え 1 欧米諸国によるアジアへの進出と植民地化の危機	産業革命を達成した欧米諸国は、19世紀に入ると原料の調達先や製品の販売市場を求めて、アジア各地への進出を強めていました。当時の清（中国）がアヘン戦争によってイギリスに敗北し、不平等な条約を結ばされたという情報は日本にも伝わっており、明治政府にとって近代化を通じた主権の維持は急務の課題でした。
問10	答え 4 天皇を中心とする強力な統治体制を築くため、藩を廃止して府知事や県令を中央政府から派遣し、全国を直接支配した。	明治維新において政府が目指したのは、軍事や徴税の権限を中央に集中させることでした。版籍奉還では旧藩主が知藩事として引き続き統治を認められていましたが、中央集権化を徹底するために廃藩置県が断行され、政府が任命した官吏（府知事・県令）が地方行政を担うことになりました。
問11	答え 4 学制	明治政府は、近代的な国民国家を築くためには国民一人ひとりが知識を身につけ、社会に貢献する能力を持つことが不可欠だと考えました。そこでフランスの制度を参考に全国を学区に分け、身分や性別に関わらずすべての子供が学校に通うことを義務付けました。
問12	答え 4 征韓論	明治初期、新政府の内部では朝鮮への対応を巡る議論が活発化しました。西郷隆盛や板垣退助らは、武力行使を辞さない構えで開国を求める「征韓論」を主張しましたが、岩倉使節団として欧米を視察し、内政の充実が急務であると痛感した大久保利通らと激しく対立することとなりました。
問13	答え 1 土地の所有者に地券を発行し、地価を基準としてその3パーセントを現金で納めさせた。	明治政府は、近代的な国家運営のための安定した財源を確保しようとしていました。それまでの収穫量に応じた米による納税（物納）ではなく、土地の所有者に地券を発行して所有権を認めるとともに、地価の3パーセントを税として現金（金納）で納めさせる制度を確立しました。
問14	答え 3 小学校	政府は近代化の基盤として初等教育の普及を最優先課題とし、全国を学区に分けて数多くの小学校を設置しました。当時の地域住民は、自分たちの子供が新しい時代の教育を受けられるよう、多額の費用を出し合って洋風のデザインを取り入れた立派な校舎を建設することもありました。藩校は江戸時代に武士の子弟を教育した機関であり、新制度とは異なります。